

2025 年度 事業計画書

学校法人 名城大学

本法人では、立学の精神である「**穩健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」に基づき、社会が求めるバランス感覚と実行力を兼ね備えた人材の育成に努めています。具体的には、開学 100 周年を迎える 2026 年を目標年とする戦略プラン「Meijo Strategy-2026（以下「MS-26」とする）」を 2015 年から推進しており、ビジョンである「**大学：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく『学びのコミュニティ』を創り広げる**」、「**高校：『多様な経験』を創り出す『挑戦する学校』**」の実現を目指しています。さらに 2021 年度には、MS-26 の進捗状況を点検し、その完遂に向けて重点的に取り組むべき事業内容を「中期事業計画」として明確化しました。

この MS-26 及び中期事業計画に基づき、2025 年度に各設置学校及び法人が実施する主な事業について本計画書にまとめました。ここに掲げた、人材の確保・育成、教育・研究の充実、社会貢献、そしてそれらを支える組織・体制の整備と経営強化を、全構成員が一丸となり着実に推進してまいります。

2015－2026

MS-26 戦略プラン

－開学 100 周年に向けて－

立学の精神：「**穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」

[大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観]
生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

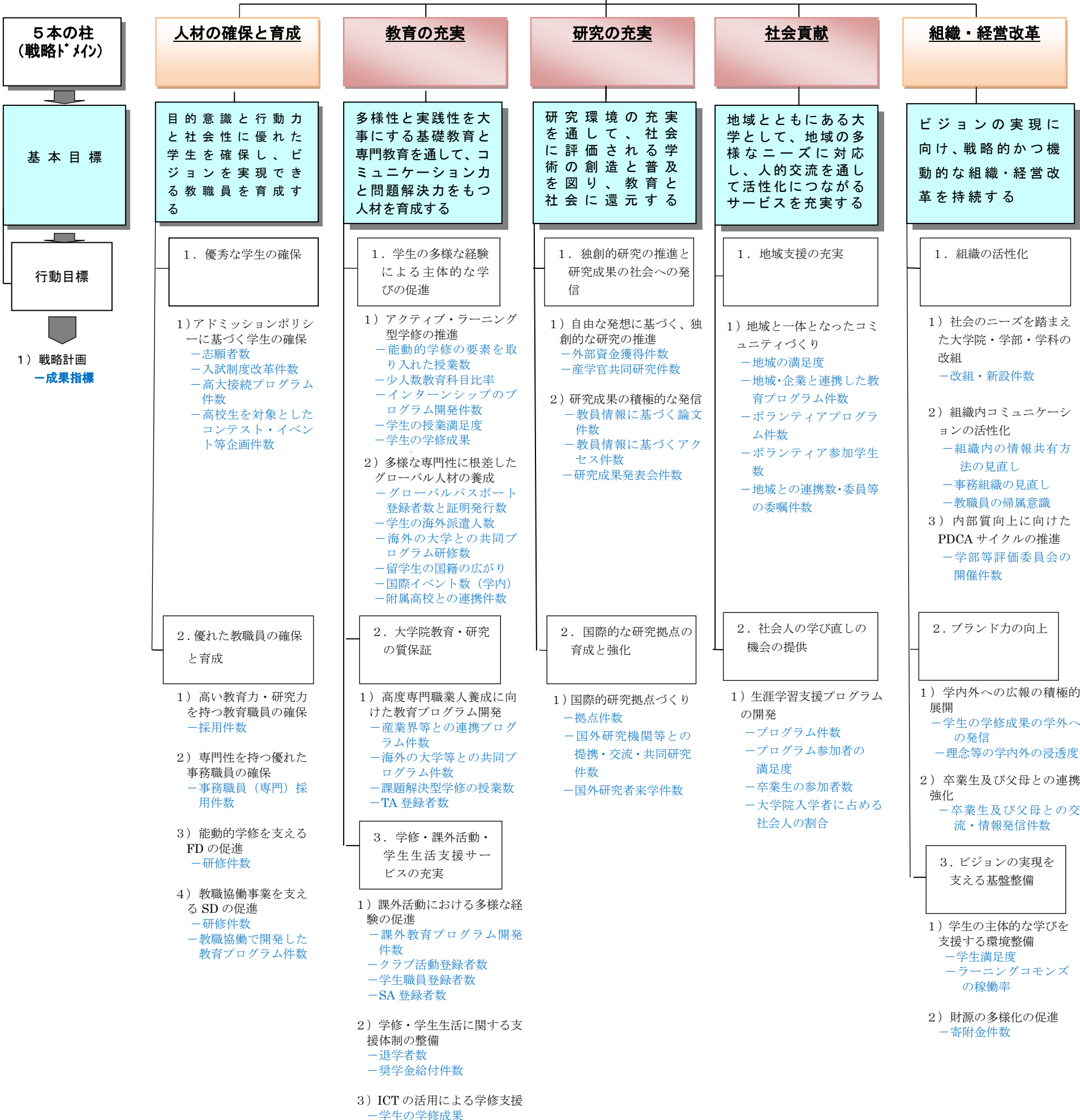
Vision：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「**学びのコミュニティ**」を創り広げる

Mission：（**教育ミッション**）主体的に学び続ける「**実行力ある教養人**」を育てる

（**研究ミッション**）「**学問の探究と理論の応用**」を通して、**成果を教育と社会に還元する**

（**社会貢献ミッション**）社会との「**人的交流**」を通して、**地域の活性化に貢献する**

Key Performance Indicators (KPI)：学生の大学に対する満足度、学生の学修成果、就職満足度、卒業後の帰属意識、教職員の帰属意識



2015－2026

MS-26 戦略プラン

－開学 100 周年に向けて－

立学の精神：「**穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」

[大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観]

生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

Vision：「**多様な経験**」を創り出す「**挑戦する学校**」

Mission： (教育ミッション)「主体的に学ぶ力」と「突破力」を備えた生徒を育成する
(社会貢献ミッション)「人的交流」や「学習活動」を通して、社会的責任を果たす

Key Performance Indicators (KPI)：卒業後の帰属意識、生徒・保護者の学校に対する満足度

4本の柱
(戦略ドメイン)

基本目標

行動目標

1) 戦略計画
－成果指標

人材の確保と育成

目的意識と行動力、社会性に優れた生徒・教育職員を確保し、育成する。

1. 生徒の確保と育成

- 1) 教育目的・方針に基づく優れた生徒の確保
 - －入学時の偏差値
 - －取得資格・受賞の状況
 - －志願者数
 - －財政支援
- 2) 中学校との接続強化
 - －中学生参加企画数
 - －相談会・説明会開催件数
 - －学校見学会参加者数
 - －教育職員による中学校への訪問件数
 - －上級学校訪問人数
- 3) 学習塾等の関係団体との連携強化
 - －相談会・説明会開催件数

2. 教育職員の確保と育成

- 1) 教員の資質向上
 - －研究授業件数
 - －校内研修件数・参加者数
 - －校外研修派遣者数
 - －他校との人的交流件数

教育の充実

授業・HR・課外活動などを通して、幅広い教養、コミュニケーション力、問題解決力をもつ人材を育成する。

1. 学習・生活指導の充実

- 1) 生徒の多様化に対応した学習・生活指導の充実
 - －不登校・退学者数
 - －特別指導対象者数
 - －生徒・保護者の満足度
 - －学級集団把握 (Q-U) 活用数
 - －相談件数 (SC・教員)
- 2) 課外活動の活性化
 - －部活動数・部活動参加率
 - －大会等の実績
 - －学校行事の開催数
- 3) 学習成果の向上
 - －偏差値推移
 - －取得資格・受賞の状況
 - －生徒のキャリアビジョン形成度
 - －生徒の意識変容度

2. 「突破力」を育む教育プログラムの開発

- 1) 探究型学習の推進
 - －高大連携プログラム件数
 - －外部団体連携プログラム件数
- 2) 国際化の推進
 - －プログラム件数・参加生徒数
 - －留学生数・留学受け入れ数
 - －連携団体数

社会貢献

社会に貢献できる生徒を育成し、交流や学習活動を通して社会的責任を果たす。

1. 地域資源の活用による教育の推進

- 1) 地域連携プログラムと地域活動の充実
 - －地域社会との連携事業件数
 - －地域活動の件数・参加者数

2. 社会貢献の促進

- 1) 地域の方々を支える中村キャンパスの活用
 - －防火・防災活動件数
 - －防災教育の実施数
- 2) 貢献活動
 - －活動件数・参加生徒数

組織・体制整備

ビジョンの実現に向け、戦略的かつ機動的な組織・体制を持続する。

1. ビジョンの実現を支える基盤整備

- 1) 組織・体制の整備
 - －ミドルリーダーの活性化
 - －校務分掌と事務室との連携強化
 - －ビジョンの共通理解
 - －クラス・コース・系列の縦のつながりの強化
- 2) 環境整備
 - －体育施設・設備数
 - －文化施設・設備数
 - －生徒・保護者の満足度
- 3) 財源の多様化の促進
 - －寄附金件数
 - －同窓会の強化

2. ブランド力の向上

- 1) 学内外への広報の積極的展開
 - －生徒による中学校への訪問件数
 - －情報発信件数 (中学校・保護者・卒業生)
 - －メディアの活用件数
- 2) 在校生・卒業生の帰属感
 - －学内幹事の組織化
 - －同窓会定期総会の実施
 - －在校生と卒業生の交流件数
 - －OB 関係者・兄弟姉妹等入学者数

本法人では、2021 年度に中期事業計画を策定し、2026 年に達成すべき「到達目標」を設定しています。この達成に向け、2025 年度は以下の計画に取り組みます。

大学

【2026 年度到達目標】

- ・ 学生の大学に対する満足度 95%以上
- ・ 学位授与方針の達成度（学生の学修成果）90%以上
- ・ 本学を卒業することの誇り 90%以上
- ・ 本学卒業生としての誇り（卒業後の帰属意識）90%以上
- ・ 在学中の学びを振り返っての成長実感 100%
- ・ 就職満足度 98%以上

1. 人材の確保と育成

中期事業計画	2025 年度事業計画
多様な素養を持つ質の高い学生を安定的に確保するため、入試改革を推進する。	・ 優秀な学生を確保するための新入試制度を提案する。 ・ 新入試制度の変更点をわかりやすく伝え、志願者数向上に繋がる入試広報を展開する。
多様な人材の活用による研究力・教育力強化のため、各種制度の導入及び改善を実施する（URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）制度、特任助手制度等）。	・ URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）制度を活用し、支援内容を大幅に拡充することで、質の高い研究支援を展開する。 ・ 教育・研究支援の充実に向け、特任助手制度を検証し改善する。

2. 教育の充実

中期事業計画	2025 年度事業計画
社会のニーズを踏まえ教養教育を見直す（数理・データサイエンス・AI 教育等）。	・ 学生に数理・データサイエンス・AI の素養を修得させる（リテラシーレベル、応用基礎レベル）。
学生の主体性と実践性を育む教育改善を推進する（アクティブ・ラーニング・反転授業の推進、副専攻制度の全学展開）。	・ 副専攻制度の充実に向けた取り組みを推進する。 ・ 主体的な学びを促す授業の教育効果を共有し、全学及び学部・研究科における教育改善を推進する。
多様な学生に対するキャリア支援を拡充する（学修ポートフォリオの全学導入、カウンセリングの充実等）。	・ 学修ポートフォリオを活用し、学修成果の可視化及びキャリア支援を拡充する。
ビジョン達成に資する学びのコミュニティ創出支援事業等を活性化する。	・ 「学びのコミュニティ創出支援事業」の効果を検証し、活性化に向けた取り組みを推進する。 ・ 「Enjoy Learning プロジェクト」の活性化に向けた取り組みを推進する。

中期事業計画	2025 年度事業計画
アントレプレナーシップを持った次世代人材を育成する。	・ アントレプレナーシップを養成する人材育成プログラムを推進するとともに、正課外プログラムを企画・実施する。 ・ 起業活動促進拠点を運営し、起業活動の活性化を推進する。 ・ 学生主体の起業コミュニティの運営を支援する。
国外派遣学生及び受入れ留学生を増加させる（交換留学制度の拡充等）。	・ 派遣留学制度の拡充により、学生を積極的に海外に派遣する。 ・ 受入れ留学制度の拡充により、留学生を積極的に受け入れる。 ・ グローバルプラザの利用促進により、学生の英語力向上とグローバルマインド涵養を図る。 ・ グローバル人材養成に向けたプログラムを推進する。 ・ 国際化計画 2026 を推進する。
退学者減少のため、退学理由の分析及び対策を推進する（学生指導体制の充実、メンタルヘルス対応等）。	・ 退学理由の分析や対策を実施し、退学者を減少させる。

3. 研究の充実

中期事業計画	2025 年度事業計画
研究の更なる活性化に向けた組織的施策を実施・検証する（外部資金獲得に向けた教員サポート体制・制度の充実、URA 導入及び活用[再掲]）。	・ 外部資金の更なる獲得に向けた教員サポート体制の拡充及び環境整備を推進する。 ・ URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）制度を活用し、支援内容を大幅に拡充することで、質の高い研究支援を展開する。【再掲】
産官学連携による総合大学の強みを生かした研究（共同研究）を促進する（URA 導入及び活用[再掲]、リサーチフェアの推進等）。	・ URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）制度を活用し、支援内容を大幅に拡充することで、質の高い研究支援を展開する。【再掲】 ・ リサーチフェア、外部の技術相談会、展示会において研究シーズの情報発信、マッチングに繋ぎ、共同研究件数を増加させる。
LED・カーボンナノチューブに加え、新たな世界的研究拠点を形成する。	・ 各種研究センターを中心とした独創的・先駆的な学術研究活動を支援する。

4. 社会貢献

中期事業計画	2025 年度事業計画
社会的要請への対応や地域課題の解決等に向けた行政・企業等との各種社会連携事業及び包括連携協定の締結を推進する。	・ 行政・企業等との社会連携事業を推進し、社会的要請への対応及び地域課題の解決に取り組む。
社会のニーズを捉えた社会人向けの公開講座等を企画・運営する。	・ 社会のニーズを捉えた公開講座等の企画・運営により、社会人の学びや生涯学習の機会を創出する。

5. 組織・経営改革

中期事業計画	2025 年度事業計画
大学規模の維持及び適正規模の検証・提案、全学的視点による既設学部・学科の再編を推進する。	・ 社会のニーズを捉えた大学院・学部・学科の改組等に向けた取り組みを推進する。
大学院の適正規模を検証・提案する。	・ (修士) 学生確保に向けた取り組みを推進する。 (博士) 入学定員変更後の定員充足状況の検証を踏まえ、学生確保に向けた計画を策定する。
事務職員人事制度（給与体系、人事考課制度、専門人材 等）を見直す。	・ 事務職員新人事制度導入に向けた取り組みを推進する。
教学マネジメントを実質化する（学修成果の可視化による教育改善）。	・ 学修成果の可視化とそれに基づく検証・改善を行う。
ブランド力向上に向けた戦略的広報を展開し WEB サイトや SNS 活用方法を見直すとともにメディアとの関係を構築する。	・ 広報戦略に基づく情報発信及びメディアとの関係構築によりブランド力向上を図る。
文部科学省及び各種関係団体の動向や情報を収集する。	・ 東京オフィスを拠点に文部科学省及び各種関係団体の動向・情報を収集し活用する。
新たな卒業生組織を設置・拡大し、卒業生との連携を強化する。	・ 卒業生組織の拡充に向けた取り組みを推進し卒業生の誇りを醸成する。
コンプライアンス基本原則を策定し、その推進に係る研修等を実施する。	・ 研究倫理、ハラスメント、法令遵守等に係る研修を実施する。
ICT 活用を推進する（教育・研究環境の向上、学生支援、法人運営支援、社会への情報発信、業務効率化、セキュリティ強化等）。	・ DX を可能とするネットワーク環境・ICT 機器の整備を推進し、教育研究活動の活性化を図る。

中期事業計画	2025 年度事業計画
新築建物の円滑な稼働及び既設建物の効率的な運用管理により教育施設環境を向上する。	【天白キャンパス】 ・ 開学 100 周年記念アリーナ及びクラブハウス棟を竣工する。 ・ 新体育館の解体に着手する。 ・ 8 号館改修工事を検討する。 ・ 100 周年記念施設について決定する。 【八事キャンパス】 ・ 新 2、7 号館（Ⅰ期）の建設に着手する。 【全体】 ・ 既設建物の運用管理に係る検証、見直し及び水平展開を行う。
安定的な財政基盤を維持・強化する。 【法人全体】	・ 目標とした学生数を確保し教育・研究の基盤を維持する。 ・ 収入増加策の推進及び業務改善による経費等の支出削減を推進する。 ・ 特定資産を計画的に拡充する。 ・ 安全且つ効率的な資産運用を行う。
100 周年事業を推進する。	・ 開学 100 周年事業の実施準備を推進する。 ・ 開学 100 周年に係る募金事業を推進する。

上記に加え、以下の計画に取り組みます。

2025 年度事業計画
・ 大学院生に対するキャリアパス支援を拡充する。 ・ 強化クラブ等の活動の活性化に向けた取り組みを推進する。 ・ カーボンニュートラルに資する取り組みを推進する。 ・ 危機管理体制充実に向け防災訓練を改善する。 ・ リスクマネジメント体制の強化を図る。 ・ 社会人基礎力涵養のため挨拶運動を推進する。

【2026 年度到達目標】

- ・ 卒業時の生徒の学校に対する満足度 90%以上
- ・ 卒業時の保護者の学校に対する満足度 90%以上
- ・ 国公立大学及び大学校合格者数 100 人以上

1. 人材の確保と育成

中期事業計画	2025 年度事業計画
質の高い志願者を安定的に確保するため、入試の見直しや戦略的な入試広報を実施する（中学校への訪問、公開見学会の実施、中学生の訪問受入れ、学習塾へのアプローチ等）。	・ 質の高い志願者の確保に向け、入試制度を改革する。 ・ 戦略的な入試広報を推進し、質の高い志願者を確保する。

2. 教育の充実

中期事業計画	2025 年度事業計画
生徒の多様化が進む中、全員に幅広い教養、コミュニケーション力、問題解決力を身につけさせるため、生徒一人ひとりの学習・生活状況に応じた指導を実施する。	・ 生徒一人ひとりの学力に合わせた学習指導を推進する。 ・ カウンセリング支援体制を強化する。
教育の特色化を推進する（教育活動指針の策定、探究型学習プログラム・国際関係プログラム）。	・ 開学 100 周年事業基本計画に基づき、教育活動指針を策定する。 ・ 生徒の意欲を引き出す体系的な探究型学習プログラムを開発・推進する。 ・ 多様な経験を創出する国際関係プログラムを開発・推進する。

3. 社会貢献

中期事業計画	2025 年度事業計画
地域との交流プログラムを開発・実施するとともに参加生徒数を増加させる。	・ 地域との交流プログラムを開発・推進する。

4. 組織・体制整備

中期事業計画	2025 年度事業計画
新築建物の円滑な稼働及び既設建物の効率的な運用管理により教育施設環境を向上する。	・ ユニット型体育館を建設する。 ・ 焼失した第 2 体育館の跡地について、プール棟改修・増築工事を検討する。 ・ 必要に応じて、マスタープランの見直しを図る。 ・ 既設建物の運用管理に係る検証、見直し及び水平展開を行う。

中期事業計画	2025 年度事業計画
安定的な財政基盤を維持・強化する。 【法人全体】	・ 目標とした生徒数を確保し教育の基盤を維持する。 ・ 収入増加策の推進及び業務改善による経費等の支出削減を推進する。 ・ 特定資産を計画的に拡充する。 ・ 安全且つ効率的な資産運用を行う。
100 周年事業を推進する。	・ 開学 100 周年事業の実施準備を推進する。 ・ 開学 100 周年に係る募金事業を推進する。

上記に加え、以下の計画に取り組めます。

2025 年度事業計画
・ カーボンニュートラルに資する取り組みを推進する。 ・ 危機管理体制充実に向け防災訓練を改善する。 ・ リスクマネジメント体制の強化を図る。 ・ 社会人基礎力涵養のため挨拶運動を推進する。